

タイトル：インプラントトラブル回避の秘訣セミナー～口腔外科医の視点から～

オッセオインテグレーションタイプの歯科インプラントがはじめて臨床応用されてから約 60 年が経過しました。その間のシステムの改良や治療法の確立も相まって、いまやインプラントは安全な医療として確立されたといえるでしょう。その一方で、普及にともなってトラブル事例も少なからず報道されています。また、たとえガイドラインを守った丁寧な治療を心掛けたとしても、治療を長く経験すれば難易度の高い症例に遭遇したり、予想しなかったトラブルが起こったりすることは避けられません。インプラントに関するトラブルにはさまざまな原因があります。本セミナーでは、その中でも全身疾患や外科処置など、口腔外科医としての視点から考えられるトラブルについて、その対策を含めてお話したいと思います。人口の高齢化に伴って有病者が来院される機会は多く、また疾患に対する理解やガイドラインの変更など、常に知識をアップデートする必要があります。セミナーの前半では、これらインプラント治療に関連する全身疾患とその対応について解説します。また、インプラント治療にはかならず外科処置が伴いますが、口腔外科を専門にトレーニングする機会は限られており、そのためにトラブルが生じるリスクも懸念されます。そこで後半では、インプラント治療に必要とされる口腔外科の基本手技について解説する予定です。このセミナーが日々のインプラント治療のトラブル回避につながれば幸いです。

## 略歴

- 1988年3月 広島大学歯学部 卒業
- 1991年9月 名古屋大学大学院医学研究科修了
- 1992年4月 名古屋大学医学部口腔外科学講座 助手
- 1995年11月 Clinical Investigation and Patient Care Branch, NIDCR  
National Institute of Health (文部省在外研究員)
- 1999年7月 名古屋大学大学院医学研究科, 頭頸部感覚器外科学講座 講師
- 1999年12月 Department of Molecular Biology.  
University of Texas Southwestern Medical Center (ADA fellow).
- 2002年6月 名古屋大学医学部組織工学(J-TEC)寄付講座 助教授
- 2003年4月 名古屋大学医学部組織工学(日立メディコ)寄付講座 助教授
- 2006年4月 東京大学医科学研究所 幹細胞組織医工学寄付研究部門 客員助教授
- 2008年7月 東京大学医科学研究所先端医療研究センター分子療法分野 特任准教授  
附属病院 先端診療部 骨再生診療科
- 2011年4月 松本歯科大学 口腔顎顔面外科学講座 教授
- 2018年3月 松本歯科大学 総合歯科医学研究所 教授
- 2022年1月～愛知医科大学医学部 歯科口腔外科学講座 教授

## 資格等

- 歯科医師免許
- 日本口腔外科学会専門医、指導医
- 日本顎顔面インプラント学会専門医、指導医
- 日本再生医療学会認定医
- 日本口腔インプラント学会専門医、指導医
- 日本口腔科学会認定医

## 賞 罰

- 第3回日本再生医療学会優秀演題賞、The Third International Symposium on Salivary Glands in Honor of Niels Stensen Poster Award、日本生物工学会生物, Outstanding Paper Award of 2007 (Journal of Chemical Engineering of Japan)、2009年日本人工臓器学会論文賞

その他 (所属学会名役職及び社会における活動等)

- 日本再生医療学会 (評議員)